令和5年度 東中学校スクールプラン　～ 夢の実現を目指したスモールステップを重ねて ～

2023.4.3

学校教育指標

夢きよく　道はるか

学校教育目標

「豊かな人間性をもつ生徒の育成」
・生命の尊さを知って生活しよう　・確かな学力を進んで身につけよう
・たくましい体づくりに努めよう　・正しい判断力をもって行動しよう

日本国憲法　教育基本法　学校教育法
第３期教育振興基本計画
山梨県教育振興基本計画（令和元年～令和５年）
令和５年度　山梨県学校指導重点
令和５年度　甲府市学校教育指導重点

めざす学校像

生徒、地域、保護者が安心し、信頼される学校
生徒が達成感を味わえる特色ある教育を推進する学校
知徳体の調和のとれた教育を推進する学校

豊かな感性を育て　文武両道を目指し
生涯にわたる人間力を育成する魅力ある学校

期待する生徒像

強い意志を持ち、個性豊かな生徒
自他を敬愛し、社会性に富む生徒
学習に意欲的に取組み、真実に生きる生徒
勤労と責任を重んじ、実行力のある生徒
正しい判断・豊かな感性をもった生徒
失敗を恐れず何事にも挑戦する自立した生徒
未来を生きるバランスのとれた生徒

めざす教師像

生徒一人ひとりの個性に応じた教育を推進し、
信頼される教師　学び続ける教師

師弟同業　実践者としての教師
謙虚な姿勢で誠実に実践を積み重ねる教師
誇りと職責の重さを自覚し研鑽に励む教師
※生徒の小さな変化を見逃さず対応できる教師

報告→連絡→相談
↓
共有
↓
実行を！
徹底しよう

和をもって高め合う職員集団　どの子にも魅力ある学校
縦と横の糸を紡ぐ　つながる → 結ぶ

研究主題 「生き生きと学習に取り組み、確かな学力を身に付けた生徒の育成」
～ICT を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を通じて～

真摯であること　一人で悩ませない教師集団　教師が育つ学校
(真剣で誠実)志を高く　**情報の共有（教職員→学年主任→教頭→校長）**

具体的な取り組み

【確かな学力の定着】

・基礎的・基本的な内容の確実な定着と、思考力・判断力・表現力を高める授業の工夫・改善に取り組む。
・授業規律を確立する。
・家庭学習・自主学習への取り組みの充実を促し、定期的な分析、検討を行う。
・自主学習への取り組みを通し、学習習慣の確立を目指す。
・やまなしスタンダード（授業づくりの７つの視点）を意識した取り組みを行う。
・特別支援教育の充実と理解、個への対応、チーム東中！
・生徒の学習意欲を喚起する。

・１人１台端末、ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ等による小集団活動の工夫。
・ＩＣＴの積極的・効果的活用による魅力的な授業の創造。
・学習意欲の向上を目指した、学習課題の設定、発問の工夫、教材研究の充実。
・授業研究を通して、授業力の向上を目指す。
・家庭学習の方法を検討し、定着を図る。
・主体的・対話的で深い学びを意識し授業改善に取り組む。
・主体的な学びを推進し、一斉授業からの脱却を目指す。
・甲府スタイルを生かした授業づくり。
・市教委学力向上専門員との連携。

【豊かな人間性の確立】

・いじめのない、心豊かな環境をつくる。
・教師の感性を高める。(学校・教室の環境づくりを)
・人間関係づくりを推進する教育を実践する。
・教育相談活動を充実させる。
・生徒実態の把握に努め、情報を常に共有する。
・18 歳選挙権、18 歳成人等、社会への参画意識を高め、これからの社会をより良く生きる、バランスの取れた幅広い見識をもたせる。
・学級経営の充実。
・人権教育及びＳＤＧｓに関する教育の推進。

・命の大切さや思い遣る心を中心とした、道徳授業、学級活動を実践する。
・自ら挨拶する、返事をする生徒を育成する。
・学級での話し合い活動や集団活動を充実させ、友人関係を豊かにし、安心して何でも話せる学級づくりを目指す。
・感染症の状況を的確に判断し､創造的な活動を行う。
・環境整備、ボランティア活動に進んで取り組む生徒を育てる。
・家庭との連携強化。(積極的に、早期の家庭訪問を)

【地域と連携した教育の推進】

・学校の様子を地域・保護者に公開する。
・地域・保護者からの意見や情報を積極的に得る工夫をするとともに、学校評価を通し、教育活動に対する理解と協力を得る。
・地域・保護者の教育力を積極的に活用し、キャリア教育等、創造的な教育活動を実践し、地域とともにある学校を目指す。
・県や市、地域の文化を積極的に取り入れ、連携し、教育活動を実践する。
・外部機関とのさらなる連携。

・地域行事への積極的参加を促す。
・学校の様子を学級、学年、学校だより、ＨＰ等で発信。
・ＰＴＡ活動の中で、保護者からの意見を聞く中で、学校改善を行っていく。
・学区の小中学校の連携を、更に進めていく。
・外部ボランティアを募り、学校への協力者、理解者を増やす。
・英語の小中連携事業を推進する。
・ICT 機器等を使用した、新しい連携方法を研究する。

【健康安全教育の推進】

・感染症対策を徹底する。
・令和５年度部活動指針（運動部　文化部）の提示。
・自転車事故等を無くす、安全教育の徹底。
・スマホ・タブレット等､情報機器の安全利用の徹底。
・健全な身体づくりと心の育成をめざし、基本的な生活習慣を身につけさせる。
・防災意識を高め、中学生が果たす役割と、危機管理意識を高める。
・がん教育について学習する機会を設け、将来に向けての健康教育を進める。

・生徒自らの感染症対応への意識を高める。
・健康安全に留意した計画的な部活動を推進する。
（週１、土日どちらかを休み→バランスを）
・スマホ・タブレット等、情報機器を使用する際の危険性や責任等について学年・学級での講習会、指導を行う。(道徳授業の実施)
・学年・学級と保健室の連携を密にする。
・エピペン、AED の講習を行い、緊急時に生かす。
・実際の災害を考え、課題の見える防災訓練を実施。
・自助・共助・公助を意識した防災への取組を行う。

指　標

・全国学力学習状況調査、全教科で平均点以上を目指す。
・自主学習ノート提出率、９０％に。
・毎日の家庭学習時間、学年＋１時間以上を８０％に。
・英語検定受検を推奨。
・漢字検定受検を推奨。
・一人一実践、研究を通して互いの授業を年２回以上見合う。
・市教委学力向上専門員等の授業参観を行う。

・いじめ０を目指す。
・「考え、議論する道徳」を目指し、ホワイトボード等を使った小集団活動を工夫する。
・読書や新聞を読む機会を増やし、今後の社会をより良く生きる姿勢を育む。
・一日一善を（人の為、自分の為、積み重ね）
・ＯＪＴ　教師集団が切磋琢磨し、豊かな人間関係の中で、高めあう。(本当の意味でのチーム学校を)
・教育予算、法のもと、心豊かな職場づくりを目指す。

・学校開放日、授業参観等、授業公開を充実させる。
・学年・学校だよりを月１回発行する。
・全国学力学習状況調査の結果考察等を 10 月に公開する。
・ＨＰの有効活用、適宜更新する。
・小中連絡協議会、小中教職員合同研究会の実施。
・東中学校区９年間の共通目標「あいさつ 学習 思い遣り」の具体的な連携実践の確認。
・小中校長会(年５回)、教頭会等の実施。(情報交換等)
・学校運営協議会等の意見を積極的に聴く。

・がん教育について、授業、講演を実施する。
・体力テストの全ての項目で、昨年の平均以上に。
・情報モラルに関する授業を学期１回以上行い、１年次には外部指導者を招聘して講義を行う。
・年間 30 日以上の不登校割合､昨年　％を　％に。
・いじめ防止基本方針の共通理解１００％。
・不登校の原因となる学習意欲衰退の解消を、小集団を有効に活用することで行う。
・SOS の出し方に関する授業を実施する。

『よく学び よく遊べ』は量ではなく質を求めることである。学習も行事も部活動も･･･「よりよく」を追究し、バランスのとれた生徒を育てる教師でいよう。

甲府市立東中学校　校長　菅谷 信